

# INFORMATION NOW

インフォメーション・ナウ



啓発打ち合わせ会では活発な意見が交わされました

日頃の活動から得たものを啓発活動に活かします。

会議では、まず狭山市のごみ処理の現状を説明し、集積所調査結果や各地域それぞれの事情をもとに啓発方法を協議しました。また、日ごろ推進員が地域で活動しているなかで疑問に感じることなどを、市の担当

ごみを減らし、資源リサイクルを進める地域のリーダー

## 廃棄物減量等推進員が各地域で活躍

各地域の特色を生かしたごみの減量や資源リサイクルを進めるため、行政と地域とのパイプ役として、「狭山市廃棄物減量等推進員制度」を設け、現在294名の推進員が活躍していることを先月号でお知らせしました。今月は、7月に行われた推進員と行政担当者との啓発打ち合わせ会の結果をお知らせします。

者と活発に意見交換をしました。

推進員から出された疑問や意見と市の回答は次のとおりです。

理会社などへ要請します。

**Q** ルール違反がわかるように、ルール違反のごみ袋は回収せずに残してもらえないか。

**A** 啓発シールを張って残すようにしています。

**Q** 集積所利用者以外の方がごみを捨てないような効果的な対策は？

**A** 集積所のかごを一言に撤去し、利用者以外は場所が分からないうようにすることで、外部からの投棄が改善されたとの報告があります。

**Q** 単身世帯の集合住宅などで、ごみの出し方が悪い場合、どのように啓発していくべきか？

**A** ごみの出し方が大変悪い場合は、市から、不動産業者、管

**Q** バッテリー、タイヤ、ガスボンベなど、市では収集も処理もしないものはどうしたらよいか？

**A** 購入した店が専門の処理業者に「ご相談ください。どこに相

談してよいか分からない場合は、分かる範囲で業者の情報を提供します。

**Q** 古紙を出す場合、袋に入れて出しても構わないか？

**A** 市では、各品目ごとにひもで十字に縛って出すようお願いしています。袋で出されたものなかには、プラスチックや生ごみなど古紙以外のものが入っていたり、新聞紙と雑誌が混ざって入っていたりする場合があり、古紙間屋で全部確認し、混入物を除去しています。

回収、リサイクルをよりスムーズに行うためにも、袋に入れずに出してください。

雑誌・雑紙リサイクルキャンペーンを実施します！

話し合いをもとに啓発重点テーマを「雑誌・雑紙リサイクルキャンペーン」と決定しました。

推進員の集積所調査結果で、「もやすごみに古紙が混入している」という報告が約20%も見られることから、もやすごみの中にはリサイクルできる紙類がたくさん混じっているようです。

新聞紙、ダンボール、マンガ本や週刊誌などは、古紙・古布の日や集回回収にかなり出されていますが、それ以外の包装紙、菓子箱、メモ用紙などの「雑紙（さつがみ）」をもやすごみに入れてませんか？

今回のキャンペーンでは、自治会班内回覧をはじめ、各地域での独自活動でも皆さんに協力を呼びかけることになりました。ご理解ご協力をお願いします。

Part II

問い合わせ  
ごみ減量・資源リサイクル  
推進チームへ内線3631